

一般社団法人 おおさき青年会議所

2026年度 総務研修委員会 基本方針

総務研修委員会委員長 菅 円

1. 基本方針

青年会議所は、志ある青年が集い、自己成長を重ね、地域社会の課題に真正面から向き合いながら、議論を重ねて行動へとつなげていく組織であり、その活動の根幹にある会議は、方針の決定はもとより会員一人ひとりの志をひとつにする重要な役割があります。規則に則り今まで以上に基本に忠実な会議運営のもと、地域を担う青年経済人として、組織として、健全な成長ができる環境が必要です。

まずは、全会員が各事業に当事者意識を持って参画するために、定款、運営規定を遵守しながら組織の規範となる諸会議の設営や例会の進行を円滑に行うとともに、生成AIやデジタルツールを使うことによって、会の意思統一がより強固なものとなり、事業の方針を決定する重要な場である諸会議の効率と質が向上します。

そして、地域の方々におおさき青年会議所の運動への共感を醸成していくために、SNS等を活用して私たちの取り組みを届けることで、おおさき青年会議所の運動が広く認知されます。

さらに、地域に根ざした運動を効果的に展開するため、厳粛な新年式典を開催し、地域を代表する方々に2026年度の方針を発信することで、一年間の運動に対する理解度が高まり、行政や関係団体との連携が強まるとともに、会員の目的意識と活動への意欲が向上します。

また、一人ひとりが地域を牽引するリーダーとなるために、青年経済人としての成長を促す学びの機会を提供することによって、多角的な視点で物事を捉え、主体的に新しいことに挑戦する意欲が高まります。

そして、卒業会員が青年会議所での学びと経験を胸に、地域のリーダーとして自信と期待を持って新たな一步を踏み出すために、これまでの歩みを称える卒業式を行うことで、自分を支えてくれた人や環境への感謝を再認識し、前向きな気持ちで次の目標に向かって進む力を得られます。

さらに、会員が青年会議所活動の意義を自覚し、希望を持って新たな年を迎えられるようにするために、仲間同士で1年を労う大忘年会を開催することで、達成感が得られ会員が主体的、能動的に活動に取り組む原動力になります。

各々が感謝と尊重の心を持ち、共通の目的に向かって協力しながら学びと成長を重ね、強固な組織基盤のもと使命と責任を果たし、会員間はもとより地域とも固い絆で結ばれる組織となります。